

## VOC 処理技術分野（新規分野）の進捗状況及び今後の予定について

### 1. 平成 18 年度の進捗状況

#### (1) ワーキンググループ（WG）開催経緯等

平成 17 年度に WG 等で議論した結果、酸化エチレン処理技術分野及び VOC 処理技術分野（ジクロロメタン等有機塩素系脱脂剤処理技術）については、以下のとおりまとめられた。

- ・ VOC 処理技術 WG 独自に実証試験へのニーズ調査をした結果、現行の対象技術の範囲では技術開発者の実証ニーズは小さい。一方、他の VOC 処理技術では幅広い実証ニーズが認められた。
- ・ このため、現行 2 分野の成果を踏まえ、統合して汎用的な「VOC 処理技術分野」（新規分野）とする。
- ・ 現行の酸化エチレン処理技術分野及び VOC 処理技術分野（ジクロロメタン等有機塩素系脱脂剤処理技術）については、2 年間で大体の技術が実証を終えたと考えられることから、手数料項目を含む実証試験要領（第 3 版）を策定した上で、実証機関及び技術開発者のニーズが一定程度蓄積するまで実証を休止する。  
なお、ニーズについては継続的に調査し、必要に応じ、手数料徴収体制において再開する。

18 年 3 月 22 日

平成 17 年度第 4 回 WG 開催

（中小事業所向け VOC 処理技術実証試験要領の作成の方向性等の検討）

（WG 検討員名簿は資料 1-7-2 参照）

### 2. 今後の予定

モデル事業の VOC 処理技術分野に関する検討調査の実施先を入札方式にて選定すべく手続中

平成 18 年 7 ~ 8 月頃第 1 回 WG を開催し、中小事業所向け VOC 処理技術実証試験要領を検討

平成18年度環境技術実証モデル事業検討会  
VOC処理技術ワーキンググループ 検討員名簿(案)

- |       |                                      |
|-------|--------------------------------------|
| 岩崎 好陽 | 元 東京都環境科学研究所 参事研究員                   |
| 小淵 存  | (独)産業技術総合研究所環境管理研究部門 浄化触媒<br>研究グループ長 |
| 加藤征太郎 | 中央大学理工学部 講師                          |
| 坂本 和彦 | 埼玉大学大学院理工学研究科 教授                     |
| 志賀 孝作 | 東京都鍍金工業組合 環境科学研究所 所長                 |
| 土井 潤一 | 日本産業洗浄協議会 理事                         |
| 中杉 修身 | 上智大学大学院 地球環境学研究科 教授                  |